



経済産業省
北海道経済産業局

経済産業省及び関係省庁における 観光サービス関連施策集 —Ver.10—

平成28年8月2日

《本資料に関するお問合せ》

北海道経済産業局 地域経済部 情報・サービス政策課

TEL : 011-709-2311 (内線2558、2559)

E-mail : hokkaido-jhoservice@meti.go.jp

経済産業省・関係省庁 観光サービス関連施策一覧

- ・本資料は、平成27年度補正予算及び平成28年度当初予算の主な施策をまとめたものです。
- ・内容等は変更になることがあります。
- ・各事業について、公募内容の詳細が決まり次第、随時更新いたします。

No.	支援制度名	公募期間	対象	概要	補助率等	担当
-----	-------	------	----	----	------	----

I. 公募中の施策

【設備投資・環境整備】

1	ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金【2次公募】	H28. 7. 8(金)～8. 24(水)	中小企業、小規模事業者	生産性向上に向けた設備投資をしたい 国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援。 【公募情報】 http://www.hkd.meti.go.jp/hokig/20160711/index.htm	補助率:2/3 上限額: (一般型)1,000万円 (小規模型)500万円	北海道経済産業局 産業技術課 TEL: 011-709-2311 (内線2585)
New 2	中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業【3次公募】 <予算額> 265.0億円	H28. 7. 29(金)～9. 9(金)	事業者 (全業種、事業活動を営んでいる法人及び個人事業主)	省エネ効果が高い設備への更新をしたい 中小企業等の省エネ効果が高い設備への更新を重点的に支援。 ※対象設備：高効率照明、高効率空調、産業ヒートポンプ、業務用給湯器、高性能ボイラ、低炭素工業炉、変圧器、冷凍冷蔵庫、産業用モータ、FEMS、BEMS 【公募情報】 https://sii.or.jp/kakumeitoushi27r/	補助率:1/3 上限額:1.5億円 下限額:50万円 (中小企業者及び個人事業主は30万円)	北海道経済産業局 エネルギー対策課 TEL: 011-709-2311 (内線2635)
3	次世代自動車充電インフラ整備促進事業 <予算額> 25.0億円	H28. 5. 9(月)～9. 30(金)	地方公共団体、事業者等	電気自動車の充電設備を設置したい 電気自動車、プラグインハイブリッド車の普及に不可欠な充電インフラの整備を図るため、道の駅、高速道路SA・PA、商業施設・宿泊施設、マンション、工場・事業所等の駐車場への充電器の設置を支援(充電器等の購入費、工事費)。 【公募情報】 http://www.cev-pc.or.jp/hojo/hosei_index.html	補助率: 定額(道の駅、高速道路SA・PA)、 2/3、1/2	北海道経済産業局 製造産業課 TEL: 011-709-2311 (内線2572)

【商品開発・販路開拓】

4	地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業(JLOP) <予算額> 66.9億円	H28. 2. 22(月)～ H29. 1. 31(火) ※予算がなくなり次第終了	法人、地方公共団体等	コンテンツを活用した海外プロモーションをしたい コンテンツの字幕・吹き替え等の現地化や国際見本市への出展等のプロモーション費用の補助等の総合的支援。 ※対象コンテンツ：映像、音楽、ゲーム、出版、キャラクター 【公募情報】 http://www.vipo.or.jp/project/jlop/	補助率:2/3～1/2 上限額:なし	北海道経済産業局 情報・サービス政策課 TEL: 011-709-2311 (内線2559)
---	---	---	------------	---	-----------------------	--

1 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 過年度支援実績

支援実績例

申請者名称	事業計画名
鶴雅観光開発（株）	タブレット端末を活用した多言語電子メニュー及び鶴雅グループゲートウェイシステム開発
(株)阿寒グランドホテル	buffetレストラン新規出店に際し、「海氷（シルクアイス）製氷機等を導入し、これまでにない鮮度で道産食材の料理を提供
旭川空港ビル(株)	国際線の受入体制強化に向けた新システムの導入・フライトインフォメーションのIT化事業
(株)ニセコリゾート観光協会	ITを活用した免税対応機器導入によるインバウンド対応事業
(株)魚長	タブレット端末を活用した海外観光客向けおもてなしシステム事業
(株)アビリティコンサルタント	旅館に宿泊する外国人からの様々な疑問に答える多言語QAサービス
(株)名寄振興公社	冬の地域資源を活用した、国内シニア層・海外観光客向けサービス構築事業

1

2 中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業

平成27年度補正予算額 442.0億円

事業の内容

事業目的・概要

- 導入する設備ごとの省エネ効果等で簡易に申請が行える制度を創設し、中小企業等の省エネ効果が高い設備への更新を重点的に支援します。
- 「長期エネルギー需給見通し」（平成27年7月）における省エネ量の根拠となった産業・業務用の設備を中心に対象とします。なお、対象設備がトップランナー制度対象の場合は、トップランナー基準※1以上の設備を補助対象にします。
- 高効率な省エネ設備への更新により、中小企業等の事業の生産性や省エネ性能を向上させ、競争力の強化につなげます。

※1 指定された製品のうち、その時点で最も省エネ性能に優れた製品の省エネ水準、技術進歩の見込み等を参考に定められたエネルギー消費効率の基準

成果目標

- 長期エネルギー需給見通しにおける、省エネ目標(5,030万kl)の達成に寄与することを目指し、省エネ設備の導入を支援することで、約1,200億円を超える国内設備投資を創出するとともに、エネルギーコストの削減を通じて、中小企業等の生産性を向上させ、企業の競争力を強化します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



- 補助対象者
全業種、事業活動を営んでいる法人及び個人事業主

事業イメージ



※2 FEMS（ファクトリー・エネルギー・マネジメント・システム）：工場におけるエネルギー管理を支援するシステム

2

3 次世代自動車充電インフラ整備促進事業

平成28年度予算額 25.0億円

事業の内容

事業目的・概要

- 電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）に必要な充電インフラの整備を加速することにより、次世代自動車の更なる普及を促進し、運輸部門における二酸化炭素の排出抑制や石油依存度の低減を図ります。
- EV・PHVの普及に不可欠な充電インフラの整備を図るため、整備の加速が特に期待されるマンション、事業所、道の駅、高速道路SA・PA等の駐車場に充電器の設置を促進します。具体的には、充電器等の購入費及び工事費を補助します。

成果目標

- 「日本再興戦略改訂2015」における、2030年（平成42年）までに新車販売に占める次世代自動車の割合を5～7割とする目標の実現に向けて、普及に不可欠な充電インフラの整備を推進します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ（設置場所イメージ）

【充電器タイプ】



普通充電器



急速充電器

【設置場所】



マンション



事業所・工場



宿泊施設



道の駅



高速道路SA・PA

※ 高速道路SA・PAについては、新設等に絞って支援します。

4 地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業【JLOP】

平成27年度補正予算額 66.9億円

事業の内容

事業目的・概要

- TPPを活用した新たな市場開拓のため、コンテンツの海外展開を支援する。具体的には、TPPを契機に、権利情報の集約化等、著作物の利用の円滑化に取り組む。
- 著作物の利用にあたっては権利許諾を受けることが必要となるが、現状は権利を誰が保有しているかが必ずしも明らかでない場合が多く、権利許諾を得やすい環境の整備が必要。
- このため、権利情報のデータベース化によって利活用を促進するなど、コンテンツ流通基盤の整備を行う。
- 併せて、コンテンツの字幕・吹き替え等の現地化や国際見本市への出展等のプロモーション費用の補助等の総合的支援を実施する。これらの支援を受けたコンテンツの権利情報をデータベースに登録することで、権利許諾が円滑に行われる環境を整備し、地域の魅力あるコンテンツのグローバル展開を促進する。

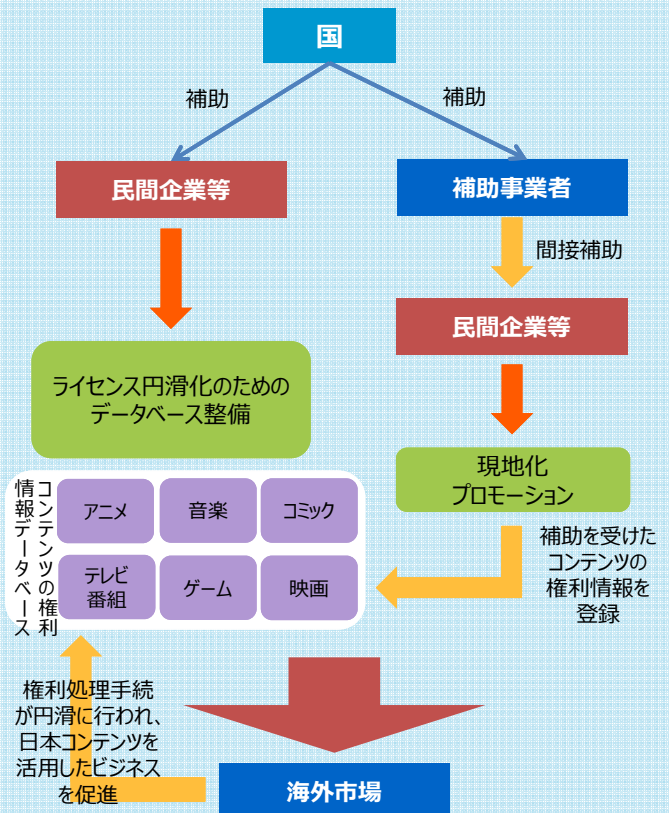
成果目標

- 2018年度までに放送コンテンツ関連海外市場売上高を約3倍に増加させる。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

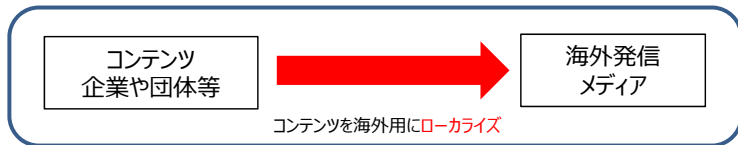


4 地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業【JLOP】 過年度支援実績

制度概要

日本のコンテンツの海外展開促進のため、字幕・吹き替え等のローカライズや国際見本市への出展等のプロモーション費用を補助。

【コンテンツが**主体**となって海外展開を促進する事業例】



【コンテンツを**有効活用**して海外展開を促進する事業例】



支援実績例

「J-POP SUMMIT」で、『コアックマ』と『アックマ』が北海道をPR！

【BeggarSwindle】

米国で開催された「J-POP」イベントで、北海道のご当地キャラクターの『コアックマ』と『アックマ』が、「ご当地キャラステージ」に参加し、英語翻訳したデジタルアニメの放映、キャラクター自身による楽曲演奏や、ノベルティの配布を通し北海道の魅力をPR。道外のキャラクターと連携したパフォーマンスも行った。



北海道の情報テレビ番組「LOVE HOKKAIDO」が、アジアでインバウンド観光をプロモーション！

【JTB北海道】

ベトナム・インドネシア・中国・タイのイベントで、現地で放送する番組を紹介するブースを出展。番組映像（北海道の食・文化・くらし）のほか、スイーツの試食体験やクイズ大会などの催しを行い、北海道ファンとなる番組視聴者を増やし、インバウンド事業の拡大や北海道産品の販売促進につなげることを目指した。

